



八王子 中町 花街 散策マップ

中町地区まちづくり協議会 事務局
〒192-0085 八王子市中町9番11号
仏壇の喜久屋内
E-mail: k-hashimoto@e-kikuya.com

制作：発行 中町地区まちづくり協議会
協力：八王子三業組合、中町町会、中町商店会
工学院大学野澤研究室

2015年3月発行
印刷 株式会社ヒラツカ印刷社
※掲載情報は2015年4月現在のものです。

八王子花街の成り立ち

八王子は江戸時代に甲州街道の宿場町として整備されました。宿場では定期市が開かれ、周辺から集められた絹織物の取引が行われるなどして栄えてきました。明治初期には二業組合（置屋・料亭）が出来ました。しかし、明治末期に起きた2回の大火を機に、遊郭は田町に、芸妓さんのいる花街は中町周辺（当時は、馬乗町と横山町の一部）に集められたことが八王子花街の始まりです。

まち並み情緒の回生

戦後の最盛期には、料亭、待合、置屋が50軒以上、芸妓数も200人以上いましたが、織物業の衰退とともに減少し、昭和60年代前半には芸妓数が一桁に落ち込んでしまいました。しかしながら、近年、花柳界の文化を受け伝えようと若い世代の芸妓数が増え、現在では20名程になり、地域行事などでも日々精進した芸を披露しています。それとともに、黒堀や石畳など花街の雰囲気漂うまち並み情緒の回生に向けて、中町は地域ぐるみで、まちづくりに取り組んでいます。

中町地区まちづくり協議会

歴史と文化の雰囲気が漂うまちづくりを推進する、地区内の住民、商店主などで構成された団体です。中町は八王子地区まちづくり推進条例に位置付けられており、これからのまちづくりの目標と方針作りに取り組んでいます。また、地区内の石畳・黒堀の清掃や柳の剪定等の維持活動のほか、ポストカード・花街マップ・まちづくり通信による広報活動にも取り組んでいます。このような活動が認められ、今後花街の中の1番通り・2番通りが石畳風に整備される予定です。協議会の活動に賛同し、ご支援いただける方はどうぞ事務局までご連絡ください。



花街

置屋、料亭、待合の営業を許可された地域。「はなまち」または「かがい」と言います。

料亭

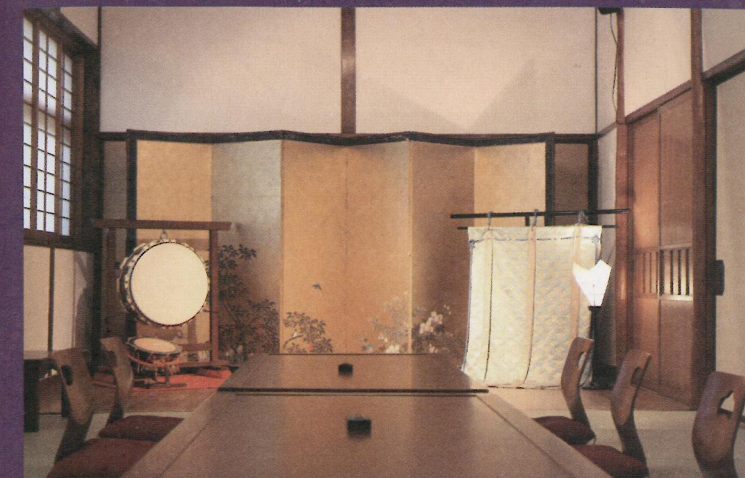
芸妓を呼ぶことが許可されたお店。調理場があって、お座敷と料理を提供する。

待合

芸妓を呼ぶことが許可されたお店。お座敷を提供するが、料亭と異なり料理はつくらず仕出しを取ります。

置屋

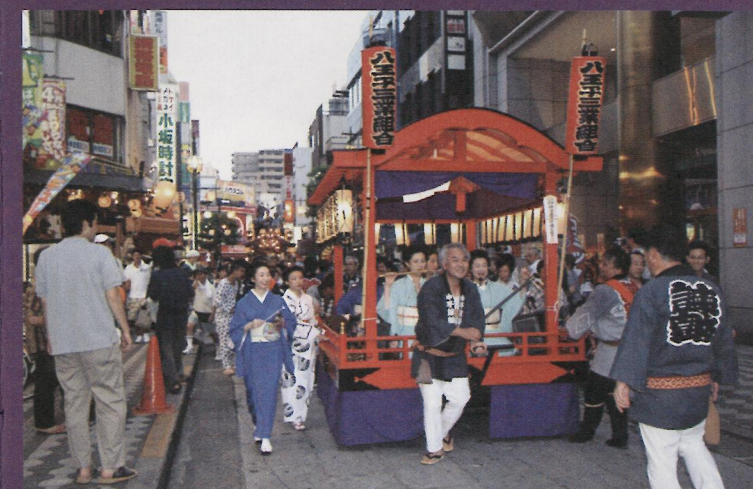
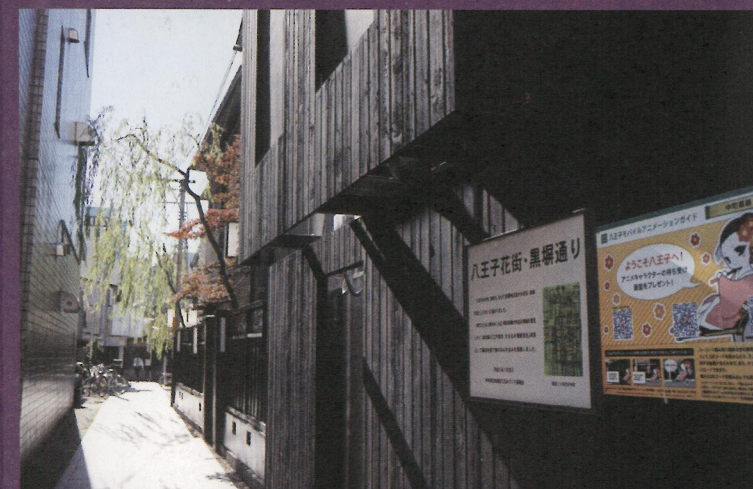
芸妓を育て、抱えている所属プロダクションのようなもの。芸妓はそれぞれの置屋に所属し、見番を通じてお座敷が手配されます。



八王子中町 料亭の様子



八王子中町 料亭から中庭を望む



にわか屋台の写真

八王子花街・中町歳時記

- 1月 新春はしご乗り・初春の舞
- 6月 芸者さんと歩こう！花街探検ツアー（不定期）
- 7月 夏の風物市・朝顔市、中町盆踊り大会
- 8月 八王子まつり・宵宮の舞
- 9月 越中八尾おわら風の舞 in 八王子
- 11月 中町餅つき

芸妓さんと呼ぶには？

芸妓さんと呼ぶには、まずは八王子三業組合（見番）までお問い合わせください。

八王子三業組合 042-622-5191 13～19時まで

散策マップ

中町の山車

山車は大正八年、大工棟梁小澤美之吉、彫刻佐藤光重、車大工棒定に依頼し建造しました。小規模ながら大変均整のとれた美しい山車です。構造は唐破風、瓦棒葺の囃子台と二層鉦台構造の楽屋から構成されています。中町の山車は八王子市指定有形文化財になっています。お祭りの際は、迫力ある山車を見ることができます。



① 中町公園と 喜久屋ビル

中町公園では「初春の舞」や「宵宮の舞」で芸妓衆の踊りが披露されます。また、中町のお祭りの会所にもなっていて地域交流の場です。喜久屋ビルは戦後のコンクリート建築物としては市内で最も古い建物です。店内から古くて大きな招き猫が覗いています。中町ポストカードもこちらで買い求めいただけます。



② 花街入口 (中町公園側)

気づかずに通り過ぎてしまいそうな入口です。一歩足を踏み入れると花街の別世界へと迷い込みます。まち並み情緒回生事業により黒塀と石畳のある入口が整備されました。黒塀に掲げられた整備の経緯を説明した看板には、料亭がいついばあった頃の絵があります。



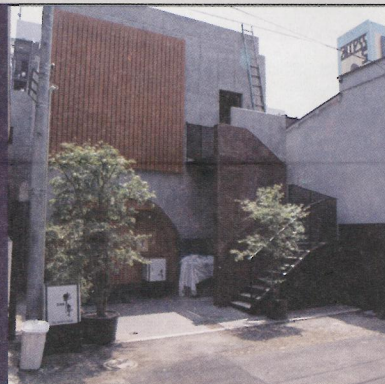
⑫ 黒塀に配慮した建物 (カフェすず)

瓦屋根の小屋根の庇や外壁に黒塀のデザインがされています。中町地区まちづくり協議会の会合に貸していたり、まちづくり活動の拠点の一つとなっています。



⑪ 黒塀に配慮した建物 (車亭)

地区内では新しいお店ですが、黒塀の設置や店先の植栽などにより花街の雰囲気に配慮した演出をされています。



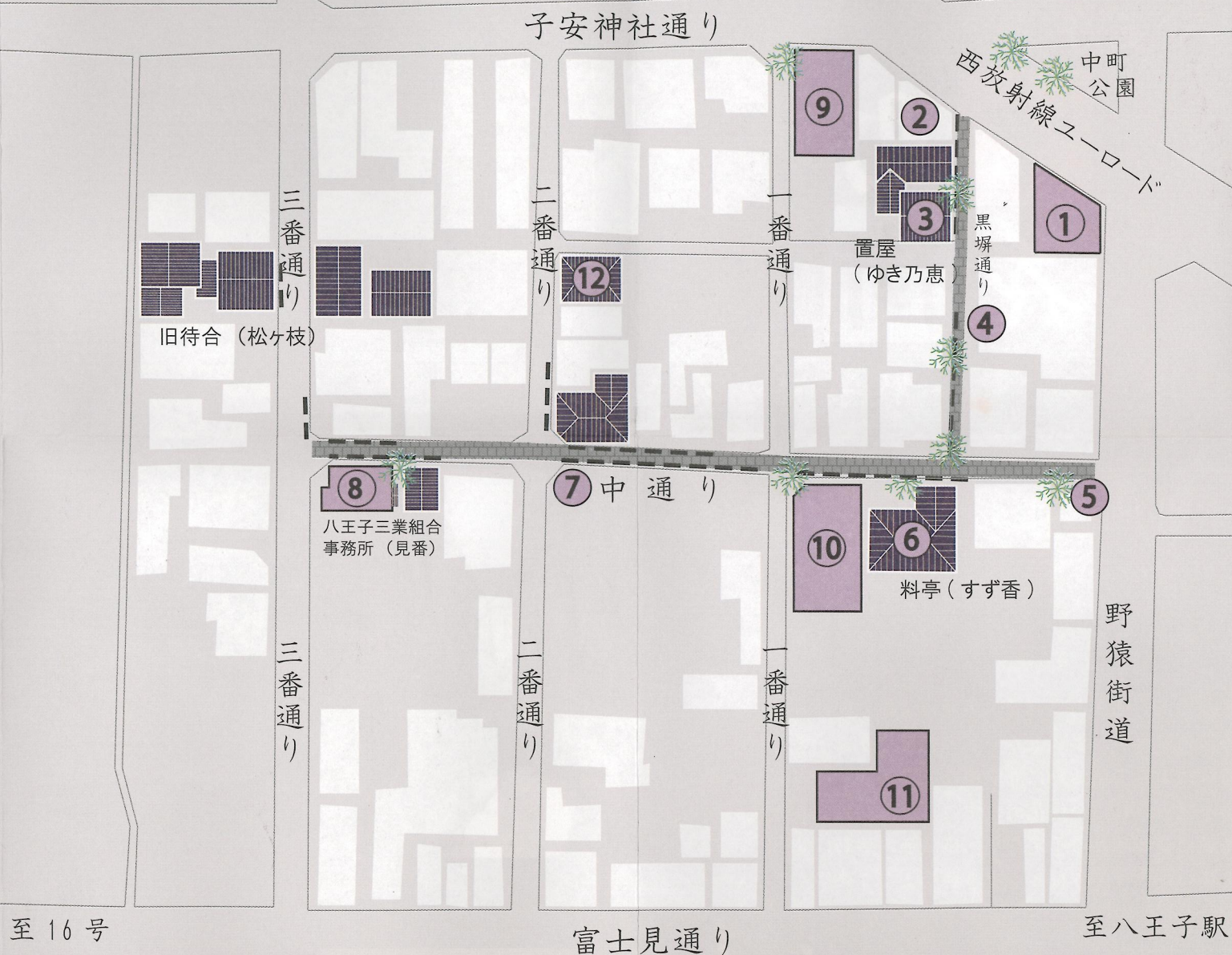
⑩ 黒塀に配慮した建物 サンテミリオン 八王子中町 (柳)

地区内では新しい建物ですが外壁に黒塀のデザインを取り入れたり、セットバックした空間に柳の植樹がされています。野猿街道側から見た廊下の電気は暖かみのある色合いで料亭すず香など周辺のまち並みと調和しています。



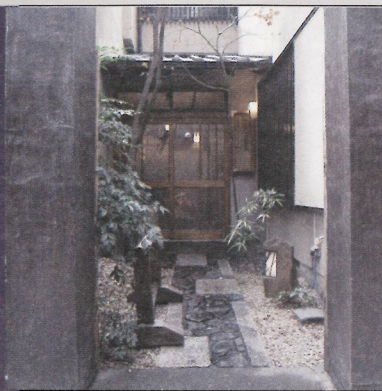
⑨ 花街入口 (ぐんま矢鵬)

この南北の通りは、一番通りと呼ばれていました。車(タクシー)を料亭などと呼ぶときの通りの呼び名として使われていました。ぐんま矢鵬には花街の入口のシンボルとして新しく柳の木が植えられています。



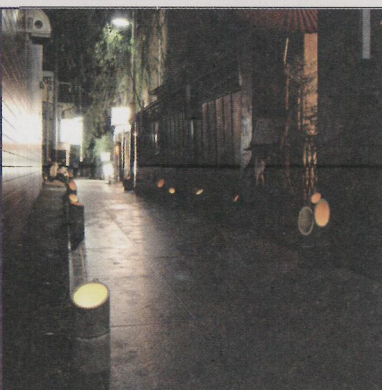
③ 置屋 (ゆき乃恵)

黒塀と塀越しの柳の木が印象的です。和の雰囲気いっぱいの玄関口の設えが見事です。運が良ければ芸妓さんが三味線を練習する音色を路地を歩きながら聴くことができます。



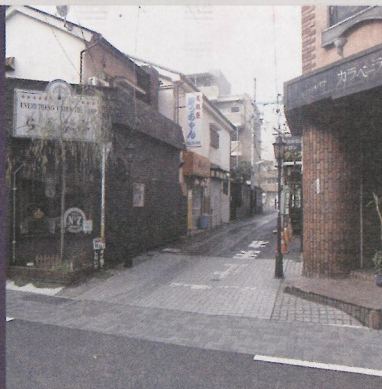
④ 黒塀通り

まち並み情緒の回生事業を活用して整備された石畳と黒塀に囲まれた小路です。一角に植えられている古い柳の木は以前の花街の名残です。中町のモニュメントと共にまち並み情緒の回生のシンボルとして大切にされています。



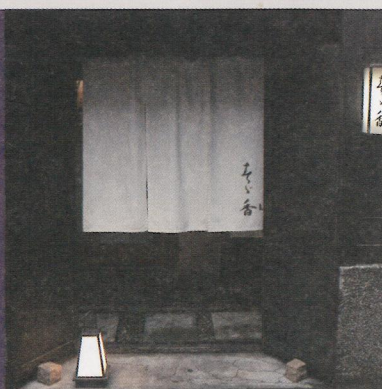
⑤ 花街入口 (野猿街道側)

中通りの入り口として、まち並み情緒回生事業により整備されました。入り口には柳の木と共に大正の面影を漂わせる街路灯が左右に配置されており、黒塀風に整えられた塀には、花街の歴史が記された看板があります。



⑥ 料亭 (すず香)

花街入口 (野猿街道側) より入ると、すぐに料亭すず香の黒塀が目にとまります。黒塀に設けられた玄関口からは、芸妓さんが出てきそうな雰囲気を漂わせています。



⑧ 八王子三業組合事務所 (見番)

以前に比べて建物の規模は小さくなってしまいましたが、現在でもしっかりと残っています。お稲荷さんや柳の木が印象的です。敷地の一角の小屋には芸妓さんが乗って三味線や太鼓を演奏するにわき屋台がおさめられています。



⑦ 中通り

野猿街道側の入り口から三業組合事務所 (見番) までの中通りには、趣のある石畳風の道路と黒塀が整備されています。以前は同じような料亭の黒塀が通りの両側に建ち並んでいました。

